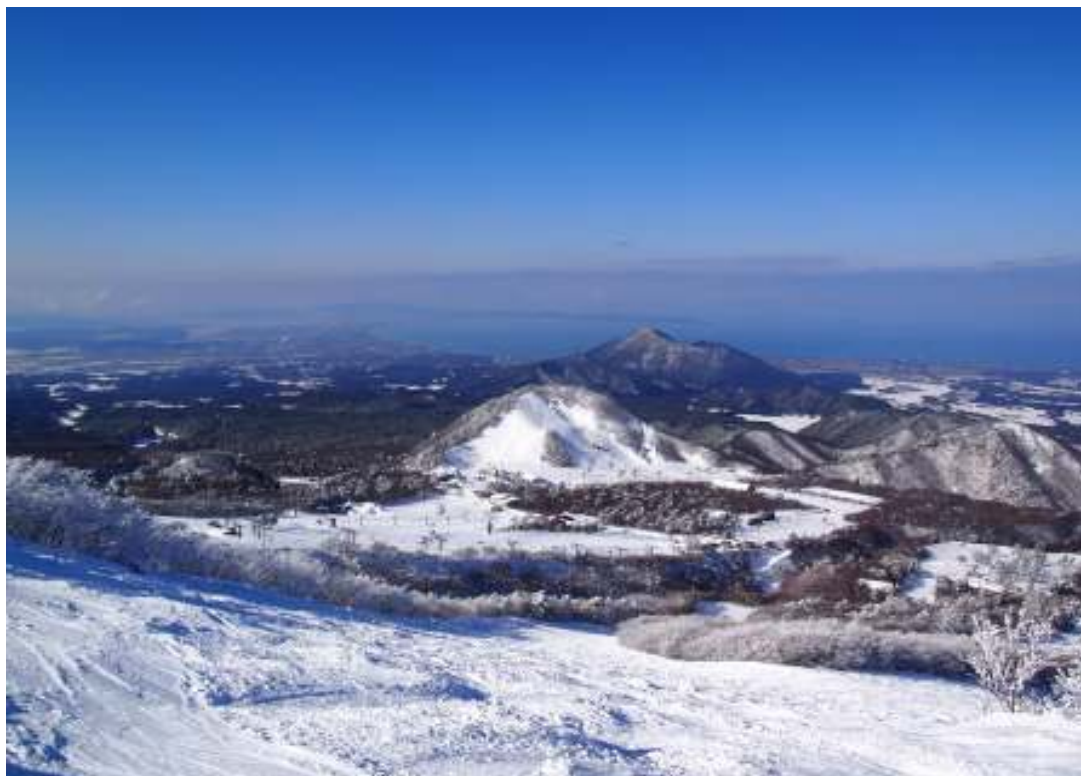


平成29年度 索道安全報告書

だいせんホワイトリゾート



株式会社だいせんリゾート

《豪円山エリア》

アクセスリフトA線・アクセスリフトB線・G1号リフト・G2号リフト

《中の原エリア》

N1号リフト・N2号リフト・N3号リフト・N4号リフト

《上の原エリア》

U1号リフトA線・U1号リフトB線・U2号リフト

鳥取砂丘大山観光株式会社

《国際エリア》

リフト名称の変更（平成29年12月）

新名称	K1号リフトA線	(旧名称 K1号リフト)
新名称	K1号リフトB線	(旧名称 K2号リフト)
新名称	K2号リフト	(旧名称 K6号リフト)
新名称	K3号リフト	(旧名称 K9号リフト)
新設リフト	K4号リフト	
休止リフト	K5号リフト	
廃止リフト	Kセンター4・K7号リフト・K8号リフト	

索道安全報告書

1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対しまして、日頃のご利用とご理解、誠にありがとうございます。

当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令を遵守しながら安全輸送に務めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

株式会社だいせんリゾート
鳥取砂丘大山観光株式会社
代表取締役 澤 志郎

2. 基本方針と安全目標

(I)基本方針

安全第一の意識を持って事業活動を行うための行動規範を次の通り定め、関係職員に周知、徹底しております。基本方針と安全目標は以下の通りです。

- (1)一致協力して輸送の安全の確保に務めること。
- (2)輸送の安全に関する法令及び関連する規定(本規定を含む)をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を執行すること。
- (3)常に輸送の安全に関する状況を理解するよう務めること。
- (4)職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に務め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをすること。
- (5)事故、事故のおそれのある事態、災害その他輸送の安全確保に支障を及ぼすおそれのある状態が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとること。
- (6)情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- (7)常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

(II)安全目標

平成29年度の輸送安全目標は、「安全は手抜きなく基本動作の繰り返し」を掲げ、乗降時の事故ゼロを目標としていましたが、利用者の皆様のご協力もありましたが1件人身障害事故が発生して、無事故を達成することができませんでした。

平成30年度の目標

- ・ 「初心にかえって基本動作を忠実に」を安全目標に掲げ、運転事故を発生させない。
- ・ 索道施設の保守強化を図り、設備の不具合による事故を発生させない。

- ・ 乗客の行動を注視し、もしもの場合は早急な停止動作対応が出来るよう、現場での教育訓練の実施。

3. 事故等の発生状況とその再発防止対策

(1)索道運転事故（索道人身障害事故）

- ・ 鉄道事業法19条、同19条の2に係わる届出事項が1件ございました。

(2)災害(地震や暴風雨、豪雪など)

- ・ 強風の影響で全リフト運休3日、一部のリフトが数時間運休した日が数日ございました。
- ・ 雪の影響で営業開始時刻が遅れる日が数日ございました。

(3)インシデント（事故の兆候）

平成29年度、インシデントは発生しておりません。

(4)行政指導等

平成29年度の行政指導等の実施はありませんでした。

(5)内部監査の実施

平成29年12月1日（金）・・・ホテル砂丘センター

監査実施者 日本交通株式会社（鳥取）業務課・・・2名

（株）だいせんリゾート

安全統括管理者・・・1名

索道技術管理者・・・2名

鳥取砂丘大山観光（株）

安全統括管理者・・・1名

索道技術管理者・・・2名

索道技術管理員・・・1名

監査方法 書類監査・内部監査チェックリスト等による。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1)人材教育

当社では、輸送や皆様の安全に役立つよう、シーズン営業開始前に施設及び取り扱いについての安全教育ならびに救助訓練を実施しております。シーズン中は、索道技術管理者が中心となり、教育指導を適時実施しております。

(2)緊急時対応訓練

当社では、緊急時の安全に備え、下記の訓練を実施しております。

- ・ だいせんホワイトリゾート教育訓練（シーズン前12月初旬）
- ・ エリアごとの救助訓練（シーズン中）

(3)安全のための投資と支出 平成29年度

《豪円山エリア》

G 1号リフト 油圧緊張シリンダー交換工事・非常用ブレーキパッド交換・握索機皿ばね交換

G 2号リフト 搬器座面不良部修理

《中の原エリア》

N 3号リフト 搬器座面の更新

《上の原エリア》

U 2号リフト 減速機冷却ファンの交換

《国際エリア》

K 1号リフトA線 乗車規制装置交換工事

K 1号リフトB線 乗車規制装置交換工事

K 2号リフト 終点滑車ベアリング、ゴムライナー交換工事

K 3号リフト 制御回路P L C交換工事

《全エリアリフト》

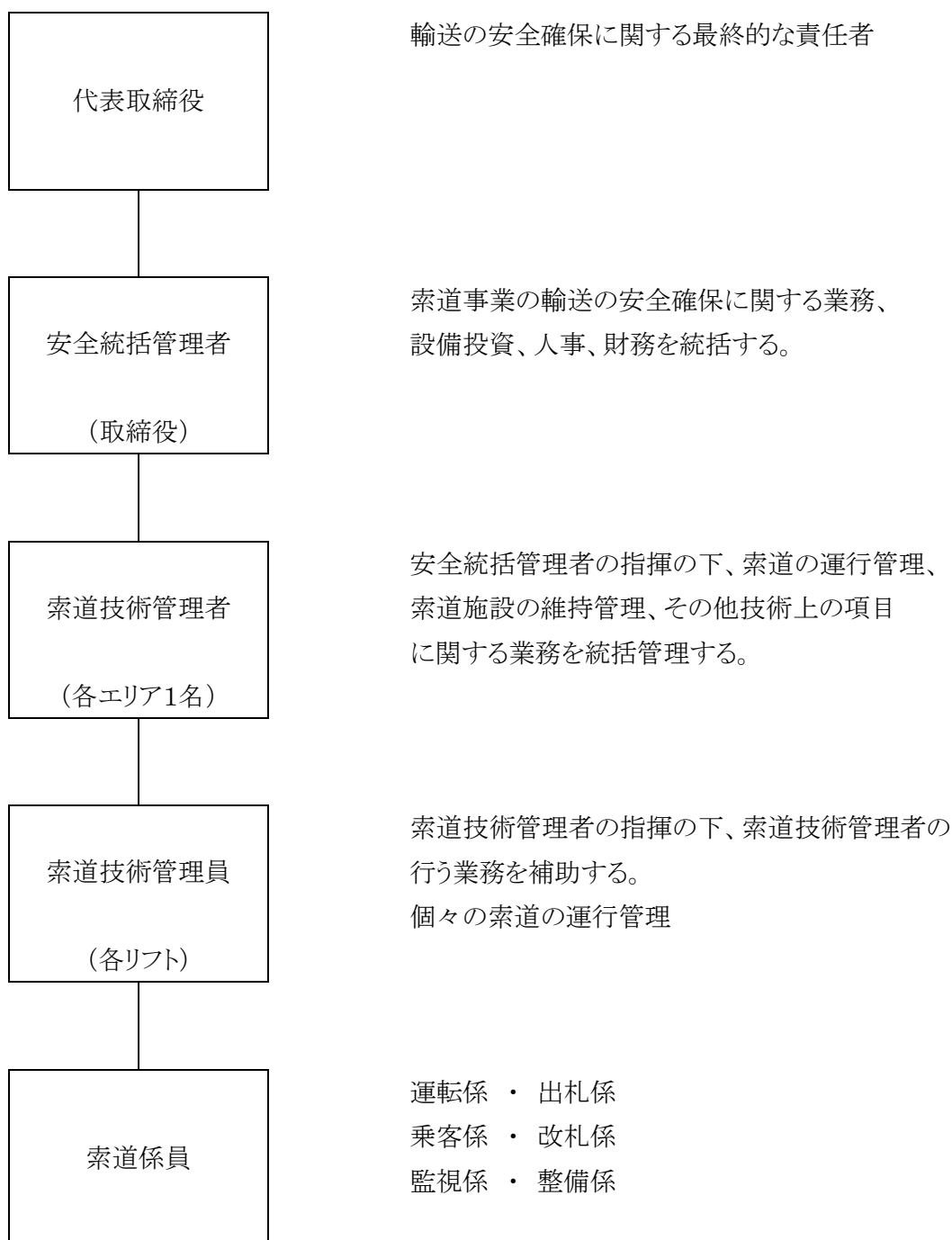
- ・不良索輪 OH、ゴムライナー、ベアリング交換
- ・全索輪グリスアップ
- ・原動装置等オイル交換・グリスアップ



5. 当社の安全管理体制

当社の安全管理体制は、代表取締役をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

安全管理体制 組織図



6. 利用者の皆様の連携とお願い

①ゲレンデ内の注意事項とお願い

スキー、スノーボードはもともと雪山の中で大自然と共に楽しむスポーツですから、その中には事故につながる恐れのある要素が多くあります。

標示のある無しにかかわらず、スキー場の状況をよく判断し、事故を起こさないよう注意して滑走してください。

当スキー場では皆様の安全を守るために努めていますが、安全のために大切なのは何よりもまずスキーヤー、スノーボーダーの皆様の注意深い行動であることを忘れないでください。

- 1) 吹雪、強風、雨、霧などの天候にご注意ください。
- 2) 凹凸、急斜面などの地形にご注意ください。
- 3) アイスバーン、雪崩など自然の障害物にご注意ください。
- 4) 岩石、立ち木などの自然の障害物にご注意ください。
- 5) リフト施設、建物、雪上車両など人口の障害物にご注意ください。
- 6) 他のスキーヤー、スノーボーダーとの接触にご注意ください。
- 7) お客様自らの失敗による事故、怪我にご注意ください。
- 8) 当エリア場内では、パトロール、係員の指示に従ってください。
- 9) 規制区域内、コース外に立ち入らないでください
- 10) 当エリア管理区域外での事故は責任を負いかねます。
- 11) 当エリアでは場内に掲示している皆様への告知、及び「場内の行動規制」の無視、軽視による事故には責任を負いかねます。
- 12) 他のお客様に迷惑を与えるスキーヤー、スノーボーダーには場内より退場して頂く場合がございます。

②リフト乗降時の注意事項

- 1) 乗り方に不慣れなお客様は、係員にそのことを申し出て下さい。
- 2) 衣類、携帯品、髪の毛などが、搬器に巻きつかないように注意して下さい。
- 3) 搬器から飛降たり、搬器を揺らさないで下さい。
- 4) 空き缶、煙草の吸殻、その他の物を、リフトから投げ捨てないでください。
- 5) 乗降場では、係員の指示に従ってください。
- 6) 降り場で搬器から降りたら、後ろから来る人の邪魔にならないよう、すぐゲレンデへ進んで下さい。
- 7) リフト乗車中にリフトが急に止まっても、イスに座ったままお待ちください。係員がすぐに対応いたします。
- 8) 係員が安全にご乗車いただけないと判断したときは、乗車をお断りする場合がございます。

7. ご連絡先

この安全報告書や当社の安全への取組みに対するご意見、ご要望につきましては下記までお寄せください。

〒689-3318

鳥取県西伯郡大山町大山96

株式会社だいせんリゾート

TEL: 0859-52-2315 / FAX: 0859-52-2314

URL <http://www.daisen-resort.jp/>

